

重度のアレルギーっこの子育ての不安が減少し、保育園・幼稚園・学校生活が安全で安心して過ごせる地域連携協働のコミュニティ

大阪狭山市食物アレルギーアトピーサークル Smile・Smile

会長 ○田野 成美
事務局長 芝辻 千歳

1. 活動方針・目的

アレルギー・アトピーを持つ子どもたちが学校生活などを楽しく送れること、また、アレルギー・アトピー疾患のいる家族が少しでも治療方法や予防を前向きに考え、明るいアレルギー生活を過ごせるようにお手伝いすることを目的に平成16年8月に団体を設立。

2. 活動内容

- ・アレルギーとアトピーに関する連続講座の開催
(連続講座の一環として、学校給食の試食や調理実習を実施)
- ・スキンケアや緊急対応時の講習会を開催
- ・周囲の理解促進、親子交流のためのあそびうたコンサートを実施
- ・乳幼児のアトピー・アレルギーの電話相談窓口を運営(月1回)
- ・ブログやメーリングリストでの情報発信
- ・情報交換・交流の場である定例会を開催(月1回) ※別添「参考資料」参照

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ・シリーズ講座を行う上で医師の講座はもちろんだが、自分たちが住んでいる地域の保健センター、教育委員会、給食センター、消防署の機関がアレルギーの対応にどのような理解があり対応してくださっているかをご参加くださった参加者様に発信させていただけたらと講師依頼を行い、講座が実現した。思いを知ることで行政機関を身近に感じることができ、参加者の皆さんからも相談しやすくなったとの声をいただいた。
- ・アレルギーっこ・アトピーっこが安全で安心した生活が過ごせる為にも重要となってくる事がある。
 - ① 学校の理解と協力(校長先生・教頭先生・養護教諭・担任の先生・クラスのお友達)
 - ② 毎日の給食献立原材料表の保護者の把握と確認・アレルギー対応除去食の提供
 - ③ 学校・消防署・病院・保護者との緊急時の体制(アナフィラキシー・アナフィラキシーショック時のエピペンの使用など。)学校・教育委員会・給食センター・消防署・病院・保護者の連携や情報の共有が重要となってくる。

4. 今後の課題等

- ・大阪狭山市のアレルギー環境(連携)の実状を1人でも多く発信していきたい。
- ・アレルギーやアトピーを持つ子ども、家族への理解促進を行い、包括的に地域コミュニティに働きかけることにより、アレルギー・アトピー疾患を持つ子どもたちはもちろん、アトピー・アレルギーを持たない方も地域に愛着を持ち、絆を深め健全に成長することへ寄与していきたいと考えている。
- ・アトピーやアレルギーっこの実状を知り、(食べ物があるところで遊ばせることが怖い、アレルギーがあることでの友達付き合いなど)さりげないサポートを実現していただくためには会としてどのような働き方をするのが効率的か、また一般の方はアレルギーについて、どのような説明をされるのがわかりやすいのかの意見を伺いたい。
- ・現在の活動は、アレルギー活動がメインではありますが、私たち親が元気に楽しく何事にも取り組む姿勢を次世代のお母さん、子どもたちに伝えられる様に活動していきたい。



重度のアレルギーっこの子育ての不安が減少し、
保育園・幼稚園・学校生活が安全で安心して
過ごせる地域連携協働のコミュニティ

大阪狭山市食物アレルギーアトピー
サークルSmile・Smile

代表 田野成美



大阪狭山市食物アレルギーアトピーサークル
Smile・Smileとは



- 私たちは食物アレルギーアトピー性皮膚炎を持つ子どもの保護者が集まっているサークルです。
- 治す目標を持つ仲間と共感し、励ましあい、子どもの成長・社会への自立を見守れるような交流の場である定例会を活動の起点としている。



* 食物アレルギー!?

- 特定の食べ物に対して、湿疹やじんましん及び喘息などのアレルギー症状を起こす。
- 上記の症状が重なりアナフィラキシーショックという生命の危険がある重篤な症状を引き起こす場合もある。

* アトピー性皮膚炎!?

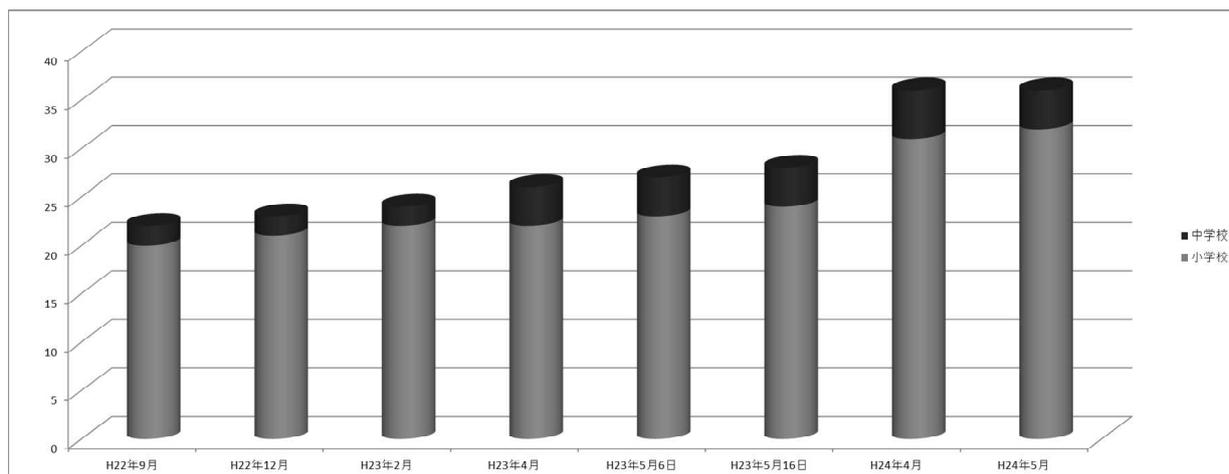
- アレルギーの一種で皮膚症状として現れ痒みが強く長く繰り返す。
- 24時間、365日休む暇がなく、本人・家族の不安な状態が続き世間から孤立しがちになりやすい。



年度別 食物アレルギー除去食希望者人数表



2010年9月から始まった大阪狭山市の学校給食 食物アレルギー除去食希望者は年々増加し、全国的にも食物アレルギーをもった子どもは増加している



安心・安全のために



- アレルギーっこ・アトピーっこが安全で安心した生活が過ごせる為にも重要となってくる事がある。
 - ①学校の理解と協力
 - ②毎日の給食献立原材料表の保護者の把握と確認
 - ③学校・消防署・病院・保護者との緊急時の体制
※学校・教育委員会・給食センター・消防署・病院・保護者の連携や情報の共有が重要となってくる
 - ④地域の情報を知っておくことが安心に繋がる
- きちんと専門医に治療してもらい、お子さんのアレルゲンの把握、アレルゲンの食べれる量の把握、定期的な負荷試験の実施
- 子供との共通理解と、しんどくなった時にどうするかを伝えておく。

講座を通して



- 医師だけでなく、各機関がアレルギーの対応にどのような理解があり対応してくださっているかを発信したいとの思いから、教育委員会・学校校長・消防署・給食センター・保健センター管理栄養士・など実際に関わる方々に講師を依頼し、講座が実現した。
- 各機関が食物アレルギーを持つ子どもたちについて、再度対応の確認をしていただける機会となった。
- 思いを知ることによって行政機関を身近に感じ、相談機関が明確になったことで、保護者たちが相談しやすい安心・安全の環境へと大きく進展。



のべ498名が連続講座(計11回)に参加した。

参加者＝保護者、子育て支援者、医療関係者、保育士、幼稚園教諭、学校教諭、市職員、

大阪狭山市では



- 活動の基盤になっている保健センター
 - 保育園・幼稚園・学校のアレルギーの理解・支援・協力をくださる教育委員会
 - 緊急時に連携体制をとってくださる消防署
 - 1人でも多くの子ども達が食べれる給食を提供くださる給食センター
 - 活動がしやすいようにとアドバイスくださる市民協働グループ、市民活動センター、公民館
- 吉田市長様をはじめ、他たくさんの機関のご協力とアレルギーっこの子育て支援があるからこそ、サークルの活動が安定して出来ているのだと思っております。

今後



- 大阪狭山市のアレルギー環境(連携)の実状を1人でも多く発信していきたい！
- アレルギー・アトピー疾患を持つ子どもたちはもちろん、アトピー・アレルギーを持たない方も地域に愛着を持ち、絆を深め健全に成長することへ寄与していきたい！
- 私たち親が元気に楽しく何事にも取り組む姿勢を次世代のお母さん、子どもたちに伝えていきたい！



アレルギーっ子応援団



- ・ 理解ってどうしたらいいの？
- ・ 支援・協力ってどんな風にしたらいいの？

と、よく聞いてもらえることがよくあります。
話しを聞いてくださる事、知ってもらう事
そして応援してくださる事が、1人ではないと感じ
子育てや治療を頑張っていくと意欲に繋がります。
応援よろしく願いいたします。



大阪狭山市 吉田市長



Smile会員

ありがとうございました



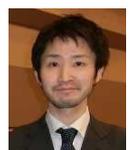
亀田誠先生



井上徳浩先生



竹村豊先生



山崎晃嗣先生



山本尚生さん



教育委員会



天見さん



樽本さん



市民協働グループ



市民活動センター



消防署



こども育成室



社会福祉協議会



保健センター



公民館



学校給食グループ



音タネ一座・表現倶楽部うどい・さやま未来プランナー



金剛コミュニティ



アレルギーを考える母の会

